

目 次

はじめに	1
1. 現行税財政制度における現状と問題点	2
(1) 大都市としての実態	2
①母都市としての役割を果たす大阪市	2
②膨大な昼間流入人口と顕著な昼夜間人口比率	3
(2) 大都市の税財政における現状と問題点	5
①歳入に占める割合が低い大阪市税	7
②大阪市には12.2%しか入らない市域内税収	8
③都市的税目に乏しい市町村税	9
④大都市特例事務にかかる税制上の措置不足	10
(3) 大都市税財政制度の確立への取り組み	11
2. 大阪市財政の現状と課題	13
(1) 大阪市の実態	13
①急速に進む少子・高齢社会	13
②早くから整備された都市施設	15
③大阪経済の現状	17
(2) 大阪市財政の現状	18
①市税収入の減少	18
市税収入の推移、個人市民税の推移、法人市民税の推移、 固定資産税(土地)・都市計画税(土地)の推移、大阪市税の推移	
②増大する義務的な経費	23
増大する義務的な経費、歳出の性質別経費の推移、 増加する扶助費、累増した市債残高と多額の公債費、 公債償還基金残高の推移、多額の特別会計繰出金等	
③厳しい補てん財源の確保	31
④一般財源の99.7%が義務的な経費に	32
⑤財政指標の他都市比較	33
経常収支比率、財政力指数、人口1万人当たりの職員数、実質公債費比率、 市債残高及び夜間・昼間人口一人当たり残高、市税総額及び市税税目別構成比、 予算規模、バランスシート、行政コスト	
⑥特別会計及び外郭団体等の経営状況	39
3. 市政改革に向けた取り組み	40
(1) 財務リストラクチャリング	40
(2) 職員数の削減	42
(3) 給与制度・手当等の見直し	43
(4) 監理団体の見直し	44
(5) 経営形態のあり方に関する方針(平成20年2月)	45
<参 考>	
中期的な財政収支概算(平成19年9月版)	46
財務リスクについて	49
格付けの取得について	50
地方公共団体の財政の健全化に関する法律について	51
平成20年度(2008)予算のポイント	52
平成20年度(2008)全会計の当初予算	53
平成20年度(2008)一般会計当初予算の内訳	54
一般会計と特別会計及び普通会計の定義	55
大阪市のあらまし	